



## どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁と防護柵を  
つくりました

### 地元の声

・豪雨などで、急に裏山が崩れてこないかととても心配。（地元住民）

#### 事業前

◆斜面が急であるため大雨等で、がけ崩れが発生するおそれがありました。



事業前の状況

#### 事業後

◆防護柵をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害リスクを軽減しました。



事業後の状況

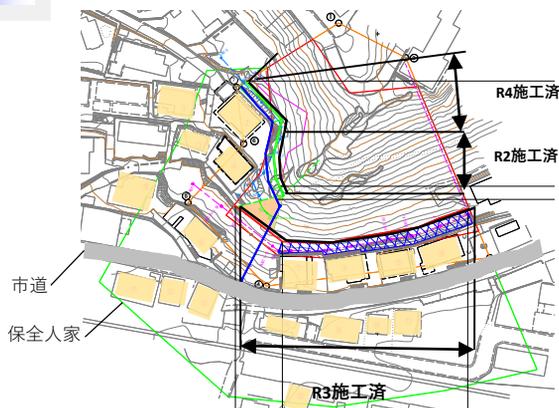
#### 事業の概要

- 事業箇所：桐生市堤町一丁目
- 事業内容：擁壁工 延長44m・防護柵工 延長82m
- 事業期間：平成29年度～令和4年度



事業位置  
桐生市

## 事業の進捗状況（令和4年度完了）



#### 今、何をしているか

令和4年度に本事業は完了しました。



#### 事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了